

広報

せいざんかい

2009

第4号

発行
平成21年1月20日

新年あけましておめでとうございます
本年もよろしく願い申し上げます



鯨波海岸

社会福祉法人 ^{せいざんかい} 泚山会

(私達法人は、「地域に開かれた・地域に愛される・地域に信頼される」をめざしています)

柏柳の里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1502
柏崎市高柳町岡野町2254-1
TEL 0257-41-2202 FAX 41-2203

いこいの里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

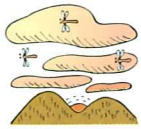
〒945-1115 柏崎市大字佐水3140(法人本部)
TEL 0257-29-3800 FAX 29-3350

柏崎市南地域包括支援センター
TEL 0257-31-4515 FAX 31-4525

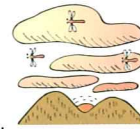
くじらなみ

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)

〒945-0855
柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 32-1121



ふれあい祭り



H20.10.18開催

ご家族や地域の方々と「ふれあう機会」になればと毎年行っている“ふれあい祭り”。地域の方々からの作品出展、福祉用具専門業者の方々からの展示協力、ボランティアの方々のご協力により、今年度も無事に行うことができました。たくさんのふれあいができたかな、と振り返りますが、ご利用者の笑顔がたくさん見れたので何よりでした。



🌸 **ステージ発表** 🌸
あじさいグループの皆様によるハーモニカ演奏、童謡など、みなさん一緒に歌いました。



🌸 **作品展示** 🌸
皆様から絵画や写真などたくさんの作品を出展していただきました。



🌸 **手洗いポスター** 🌸
カラフルな作品が揃いました。
(職員グループからの提案)



🌸 **休憩コーナー** 🌸
お茶を飲んだり、お話したり、のんびりひとやすみ…。



🌸 **介護用品展示コーナー** 🌸
健康チェックや介護用品の体験ができます。



みんなで食べると
おいしい！
皆さん満足そうです。



🌸 **ふれあい喫茶** 🌸
ケーキやおまんじゅう、好きなものを選べます。
…どれにしようかな…

デイサービス

取り組み

介護職員 土田 大介

感染症予防対策

デイサービスでは1年を通して、感染症の予防として、来園時のうがい、手拭きを実施しています。

うがいは殺菌効果のある、緑茶を使用しています。

手拭きは、次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）を20倍にうすめて使用しています。

11月からは車内に嘔吐物処理用の物品を全車に配備し、感染症を広げないよう取り組んでいます。

製作活動

午後の余暇活動とは別に、入浴前後の時間を利用して、ご利用者の皆様と職員で製作活動を行っています。

ふれあい祭りに展示する為の作品、12月にはクリスマスツリーを一緒に作りました。

365日ご利用者の皆様が健康で楽しんでいただけるよう、これからも色々な事に取り組んでいきたいと思っています。



ショートステイ

心がけていること

生活相談員 箕輪 美枝子

「元気だったかね?!」

送迎の車が到着すると、顔なじみの方を捜し、あちらこちらでこんな声が聞こえます。ショートステイを利用される理由に介護者の介護負担軽減や気分転換がありますが、いこいの里では、利用者様本人の出会いや交流の場になっているのがよくわかります。「近所でも普段顔を合わせないから、会うのはここくらい…」と笑顔で喜び合う様子を見るとこちらまで嬉しくなります。

毎日のレク活動では、「北国の春」体操!! この音楽が流れると♪いつの間にか体が動き出す?! 痛い腕も腰も伸ばしてしまいそうな、元気な姿がいつも見られます。

今後もしこいの里では、「泊まりに行くのが楽しい」「行くと元気になる」等言っていただけるよう、利用者様の楽しんでいただける活動や、一人ひとりに合った環境を提供できるよう心掛けていきたいと思っています。

☆より多くの方に利用していただきたいと思っておりますが、利用される方が多くなってきているため、予約がとりにくいことがあります。大変ご迷惑をおかけしております。空きができましたら、順に声をかけさせていただきますので、よろしくお願い致します。



ケア研究会で発表

管理栄養士 小黒 多実子

柏崎刈羽ケア研究会の研修会が平成二十年十一月十九日に健康管理センターであり、施設で取り組んでいる栄養改善というところで、経管栄養から経口摂取に移行された方の報告をさせていただきました。

経管栄養から経口へ移行することは簡単なことではなく、食事を飲み込む力、むせの有無、また食べやすい食事の提供も問題となってきました。この方は約二年の期間を経て、経口に移行し、現在も三食口から食事をとることができています。

利用者の方々の笑顔と健康のために、これからも栄養改善に取り組んでいきたいと思っております。



くじらなみ文化祭

10月25日、くじらなみでは初めての大会として文化祭を開催しました。

くじらなみ

岩下先生・生徒さんによる絵画展



すばらしい絵の散々に癒されます。

パワーリハビリ体験



ハワリハって何？ マシンを使ってLet's try!

ゲームコーナー



豪華景品が当たるかも？
1等が当たりますように...

1階のエントランスホールでは、以前絵画を寄贈していただいた画家の岩下尊弘先生、その生徒さんからご協力ももらい、52点の絵画を展示させていただきました。まるでミニ美術館のような雰囲気になり、皆様じっくりと鑑賞されていました。

その他利用者の作品展示をはじめ、さまざまな催し物で入居者、ご家族、地域の皆様に楽しんでいただきました。

大勢の方々からおいでいただき、おかげさまで盛大な文化祭になりました。ありがとうございました。

喫茶コーナー



お寿司にケーキに...
おいしいとついつい
食べすぎちゃいます。

利用者作品展示・ユニット紹介



利用者の皆さんの力作です。
ユニットで、
いろんなことをしたね。

フコの歌、踊りに
圧倒されます。
やっぱり民謡は
心に染みますね。



アトラクション (民謡保存会様)



要望があれば来年もと。そんな気がしております。そして園で生活される方々のお役に立てればと思っております。

作品の数は約五十点。会場に似合った展示会となり、園の内外から大勢の方々にくつくりと又何回もご覧いただきわかり安く、肩のこらない展示会となり、この企画大成功と思っております。

以前より老人ホームには癒しの空間が必要と考えておりましたので、即答でお引受けすることとして、キャンバス会「絵画教室」の皆さんに相談をしたところ、心良く引受けていただきました。

文化祭をしたいのでホームで絵画展が出来ないものかと。その人は特養「くじらなみ」の矢嶋園長さんであります。

以前より老人ホームには癒しの空間が必要と考えておりましたので、即答でお引受けすることとして、キャンバス会「絵画教室」の皆さんに相談をしたところ、心良く引受け



岩下 尊弘

特別養護老人ホームで
絵画展

入居者が主役

総括介護主任 大図 美千代

「あなたらしい生活を大切にします。」
 特養くじらなみの施設理念です。
 なじみの関係を築き、介護者であると同時に、顔を見て共に暮らす一員として、私達スタッフは、この理念を胸に入居者のお世話をさせて頂いております。よく「きれいでいい所だけれど、こういう所には入りたくないねえ」という言葉を入居者に聞きます。それは施設に入ると「みんな一緒」にされてしまうとの思いからではないでしょうか。十人十色、人それぞれの人生があり、私達はその方の今までの暮らしを大切にしたいと思っております。

残存機能を維持するため、できる事はして頂き、できないところをお手伝いさせて頂いておりますが、中には「私には何もしてくれない」と不満をもちます方もいらっしゃいます。そういった精神的な不公平感の解消がこれからの課題です。そして、「こんなところで暮らしたい」の声を目指していきたいと思っております。



施設から見える冬景色



ユニット紹介

特養くじらなみでは、入居者十名で一つのユニット(グループ)とし、専属職員四、五名で利用者のお世話をさせて頂いております。長期八ユニット、シヨートステイニユニットがあり、ユニット名には柏崎の海岸名がついています。各ユニットの取り組みについてご紹介いたします。

薬師堂ユニット

私たち、薬師堂ユニットは、いつも笑いのたえない元気なユニットです。

入居者も活発な方が大勢おられ、毎日の体操では、大きな声で「一、二、三とかげ声をかけながら行い、リハビリにも積極的に参加されています。お茶や食事の時間にも話題は尽きず、おしゃべりしながら、楽しく過ごしています。

職員の至らない所でも、入居者皆様があたたく見守り、いろいろな事を教えて下さり、職員が毎日勉強させて頂いていただき、成長させていただいております。



毎日、体操がんばっています!

東の輪ユニット

東の輪ユニットでは、入居者に季節を感じていただくような行事を計画しています。

また、お一人お一人の「やりたいう事」を御家族の方や、入居者とのコミュニケーションの中で、お聞きし、実行してよりよい生活ができるよう日々過ごしています。



そうめん流しの様子

番神ユニット

番神ユニットは、入居者お一人お一人の個性や思いを大切にし、日々のケアに重点を置き、その方に合った生活を送って頂けるようスタッフ皆で精一杯援助させて頂きたいと思っています。

ユニット内からの眺望は素晴らしく、天気の良い日は皆さん景色を楽しまれています。夏場はベランダに出て海水浴場や鯨波駅を通る電車を見ながら海風に当たり気分転換されます。暖かい季節が待ち遠しい番神ユニットです。



今日は佐渡が見えるかな…?

福浦ユニット

私達、福浦ユニットでは、「①個別処遇に合ったケアの取り組みに努める」「②入所者の楽しみや気分転換の時間を増やす」と目標を立て、職員皆で取り組んでいます。

普段は、その人らしい生活を支援する事で、個別ケアに繋げて行くようにめざしています。その生活の中で、季節感を味わい、他の入居者との交流を図れるような行事を企画し楽しんで頂いております。



文化祭の作品「巨大くじら」です。

シヨートステイ米山ユニット

くじらなみシヨートステイ米山です。きれいで使いやすく、明るく気持ちが良いと利用者の皆様に大変御好評いただいています。家庭のような居心地の良い空間作りを目指していきたいと思っております。私達が皆さんの要望に答えられ、いてほしい時、側にいて良かった、来て良かったと思われるよう努めていきたいと思っております。すぐには利用しないが気になる方、利用してみたいが心配な方は気軽にご連絡の上見学に来て下さい。



「篤 姫」

柏柳の里

トピックス

昨年10月28日、柏崎市第五中学校の皆さんが職場体験学習に来園されました。生徒さんの顔を見ると、利用者の方は笑顔いっぱいになり、自然と手が伸び、握手される姿が見られました。「また来てね。」「ありがとうね。」と別れ際に淋しそうな顔になってしまいましたが、またいつでも柏柳の里に来てください。後日、お礼の手紙を生徒さんより頂きましたので、その中の一通をご紹介します。



拝啓

だんだんと寒くなり、雪の降る季節となりました。貴施設の皆様におかれましては、お元氣のことと思います。私たちは今、「あいさつや「思いやり」の心」に氣を付けて、楽しい学校生活を送っています。

さて、先日は大変お忙しい中、私たち第五中学校のために習い事な時間を割いてくださり、ありがとうございました。忘れられない思い出になりました。この度の福祉体験とありして私は「福祉」の意味をもう一度考えてみました。今までの「福祉」のイメージは、介護とか体の不自由な人のお世話というものでした。すが今回の体験で「福祉」とは、もちろん手助けという面もありますが、それだけでなく、人の心をあたためることも大切だと思いました。例えば、おばあちゃんたちとしゃべって笑う、それだけでも福祉につながると思います。

ですから「福祉」とは誰にでもできる一番身近なものだと、私は考えました。また、この体験とあわせて感じたことがもう一つあります。それは、他の人に対しての考えです。自分と違うからいやだ、ではなく、自分と違うところがあるんだ、というふうな考えです。自分と違う人たちとみれ合うことで相手の良さがよく分かります。そこで分かったことを今後の自分に生かしていけたら、と良いなと私は思いました。長くなってしまうかもしれませんが、今回の体験で学んだことは、学校だけでなく地域や家庭でも生かしていきたいです。また機会がありましたら、体験させてください。その時はよろしくお祈り致します。

平成二十一年十一月四日

柏柳の里のび百様

柏崎市立第五中学校 二年 飯塚 菜摘

敬具

地域の皆さんにお会いして来ました

南鯖石地区『いきいき講座』にて、各地区を回りながら、柏柳の里の取組みと軽体操の紹介をさせていただきました。9地区で200人以上の方にご参加いただき、当日は天候に左右されることなく、たくさんの方にお集りいただいた他、熱心に聞いていただいたことに大変感謝しております。それぞれの地区とも思った以上に元気な方が多く、皆さまの頑張っている姿がとても印象的でした。

柏柳の里では従来の介護サービスの他、昨年度より、介護予防サービスとして『パワーリハビリ教室』も実施しております。介護を必要とする方も、そうでない方も、ご自身の住み慣れた地域でいきいきと過ごしていただけるよう当施設のサービスをご活用いただければと思います。

(理学療法士 佐藤 学)



文化祭

昨年10月26日開催

ゲームコーナー



おやつバイキング

それぞれ選んだおやつを持ち寄り、テーブル囲んで談笑…。おいしいものがあると、お話にも皆さんの顔にも花が咲きますね。

どれにしようかな？



特集 感染症への取り組み

当法人では、毎年感染対策の取り組みを行っております。感染予防の為に職員間の情報共有と、マニュアルの確認・徹底に努めております。今回は当法人の嘱託医の先生より感染症についての心構えと、柏柳の里での取り組みについて紹介いたします。

感染から身を守ろう！

～すすんでワクチンを受けよう！～
特養くじらなみ嘱託医師
柏崎中央病院副院長 星山 真理

高齢者や若い職員が多い介護施設では感染症への予防対策は、最課題です。麻疹（はしか）は、罹患率と約三分割の人に肺炎や脳炎を起すことがある感染症です。麻疹だけでなく水痘（水ぼうそう）や流行性耳下腺炎（おたふく）のワクチンも合わせてぜひ受けて下さい。自分だけでなく、周りの人も一緒に守ることになります。

時代の変化につれて、新しいウイルスも登場します。新型インフルエンザは透明人間を追いかけるようなもので、対策は難しいです。インフルエンザワクチンは、発症を抑えるというより症状を押さえ込む重症化予防ワクチンと考えるとうわかりやすいでしょう。

冬になり、ノロウイルスを警戒する時期になりました。発生なしで無事、春を迎えるには全職員の衛生管理知識はもちろんですが、利用者ご家族の皆様のご協力と理解も欠かせません。集団生活では、一人の油断『自己管理の悪さや不注意』がみんなに迷惑をかけてしまいます。基本的なルール『過労を避け、バランスの良い食事をし

つかり摂る、手洗い、うがいなど身体清潔の保持』を守りましょう。世界の先進国では、「自然感染よりはるかにリスクが低ければワクチンを」というのが常識的な考え方です。まずはワクチン受けましょう。抗体があるかないかは、採血して一週間位で結果が出ます。詳細は、医療機関にお尋ね下さい。今年もよろしく願います。

ウイルスにはお断り

柏柳の里看護主任 中村 悦子

毎年、冬期に現われる暴れん坊將軍『インフルエンザ』『ノロウイルス』。当施設では『手洗い・うがい・マスク』の着用を防具にして感染対策を行っております。

特に、大暴れするノロウイルスに関しては、嘔吐物の処理の仕方について、毎年、勉強会を開いています。今年も、嘔吐物の処理について模擬演習を行い、利用者の方々に安心して生活ができるように、感染対策に心がけております。地域の皆様もノロウイルスにはくれぐれも、ご用心下さい。



地域の皆様には支えられ、毎日楽しい生活を過しています。改めてご支援ご協力に感謝申し上げます。

ボランティア

- 別保ボランティア クローバーの会 様
●米山ボランティア会 様
●高田かたくりの会 様
●半田婦人会 様
●佐水青年会 様
●高田・上条地区民生児童委員 様
●柏崎番神太鼓 なぎさ会 様
●別保 琴音会 様
●みずほ会 様
●別保よさこいどんがら キララえべすぎ 様
●野田六花連 様
●ひろみサークル 様
●柏崎市立上条保育園 様
●新潟県動物愛護協会柏崎支部 様
●立正佼成会柏崎教会 様
●郵政公社 郵便局長会(刈羽南部 柏崎部会) 様
●アルソア 様
●会田建築 様
●花榮寺住職 九里 慧明 様
●大沼順一 様
●外山恭平 様
●海津夏妃 様
●吉田理絵 様
●塚田愛子 様
●渋谷佳央理 様
●小林由喜穂 様
●いこいの里家族会 様
●みつば会 様
●つくしんぼ 様
●すみれ会 様
●樋口笑子(オーロラ美容室) 様
●高柳商工会女性部 様
●中西ツル 様
●中西ミツエ 様
●重野富枝 様
●田辺愛美 様
●黒姫神社神楽保存会 様
●笹ゆり会 様
●門出ゆうあいクラブ 様
●並木克之 様
●和みさき(フレンズカラオケサークル) 様

体験ボランティア

- 高柳雪割草 様
●柏柳の里家族会 様
●ひろみグループ 様
●いさざ会 様
●はまなす会 様
●上藤井神明社舞保存会 様
●柏崎コカリナクラブ 様
●丸山幸子・楓 様
●鯨達者 様
●エールバンド 様
●イエロークッキーズ 様
●民謡保存会 様
●聖書学院 様
●柏崎市立野田小学校 様
●柏崎市立新道小学校 様
●柏崎市立第五中学校 様
●柏崎市立南中学校 様
●柏崎市立鏡が沖中学校 様
●柏崎市立高柳小学校 様
●柏崎市立門出小学校 様

各種教室の協力

- ハーモニカ「あじさい」グループ 様
●音楽 ドレミの会 様
●習字 小熊美和子 様 春日義一 様
●手芸 高橋亮子 様 飯田淑子 様
●黒崎純子 様
●布川正子 様
●茶道 伊東 勉 様 伊東満智子 様
●生花 田辺憲子 様
●押し花 花工房 様
●ピアノを聞く会 牧口祐子 様
●和讃の会 別保和讃の会 様

寄付金

- 宮木善彰 様
●関矢 巴 様
●本間 汎 様
●新道柿組合 様
●株式会社アークベルグループ 様

福祉人材の実習・介護体験等を受け入れて

いこいの里生活相談員 中村 美沙恵

此山会の三施設では福祉人材の育成を運営方針に掲げ実習生や介護体験等の受け入れを行っています。

いこいの里では介護福祉士や社会福祉士、管理栄養士、ヘルパー等の資格取得の為の実習、小・中学生や大学生の施設見学や介護体験、現役教職員の方の介護体験等の受け入れを行っています。

どの方々も介護の現場に関心を持ってきてくださり、職員には当たり前になってしまっていることも新鮮にとらえ、疑問を持つてくださいます。施設や介護について広く知っていたことが大事であるということ、私たちも施設の



中学生から「お茶をどうぞ」

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

第四号をお届けします。地域をつなぐ架け橋になればと思っております。

冬場は感染症対策が大きなテーマです。一部特集しました。さらに地域に密着した内容に工夫を重ねます。

今年もよろしくお願ひいたします。(本部事務局 山崎)

〈ホームページの開設〉

平成19年11月からホームページを開設しましたのでご利用ください。http://www.fuku-seizankai.jp/

発行 社会福祉法人 此山会
柏崎市大字佐水3140番地
電話 0257-29-3800
編集 本部事務局広報委員会

広報 せいざんかい
平成21年 1月20日発行
(年4回発行 4/20、7/20、10/20)
印刷 (有)わかひ印刷